

葛根湯A エキス細粒「分包」 三和生薬

葛根湯Aエキス細粒「分包」三和生薬は、漢方処方「葛根湯」の水製エキスを服用しやすい細粒の分包にしたものです。



使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
- (4) 胃腸の弱い人。
- (5) 発汗傾向の著しい人。
- (6) 高齢者。
- (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|----------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消 化 器 | 吐き気、食欲不振、胃部不快感 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

| 症状の名称 | 症 状 |
|---------------------|---|
| 偽アルドステロン症、 ミオパチー | 手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |

3. 1ヵ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

用法・用量

次の1回量を1日3回食前又は食間に服用すること。

| 年 令 | 1 回 量 |
|-----------|---------|
| 大人（15才以上） | 1 包 |
| 7才～14才 | 2/3包 |
| 4才～6才 | 1/2包 |
| 4才未満 | 服用しないこと |

〈用法・用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成 分

本品1日量 …………… 3包（1包 2.0 g）中
葛根湯エキス …………… 4.1 g

| | |
|-----------------|-----------------|
| カクコン …………… 4 g | シャクヤク …………… 2 g |
| マ オ ウ …………… 3 g | タイソウ …………… 3 g |
| ケ イ ヒ …………… 2 g | ショウキョウ …… 1 g |
| カンゾウ …………… 2 g | |

上記の生薬より抽出したエキス

添加物として乳糖、セルロース、部分アルファー化デンプン、ステアリン酸Ca、無水ケイ酸を含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

● お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

*消費者くすり相談室 TEL 0570-095770
10:00～17:00（土、日、祝日を除く）

本剤は、生薬を使用しておりますので、製品により多少色が異なることもございますが、効能・効果にはかわりございません。

適応症

体力中等度以上のものの次の諸症：

感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み



三和生薬株式会社
栃木県宇都宮市平出工業団地 6-1